「ぎふ木育」における
自然保育へのアプローチ

Ｈ３０・７・１３

岐阜県　林政部　恵みの森づくり推進課　木育推進室

1　「ぎふ木育」誕生の背景

昔・昭和 〔自然（森林）の恩恵を受けてくらす〕

〔森と人のかかわりの中で生まれた「木と共生する文化」〕

◎伝統・文化〔飛騨匠（ひだのたくみ）、一位一刀彫等〕
◎地域の関わり〔豊富な木材資源を背景とし林業・木材産業〕

現在 〔人の暮らしと自然（森林）とのつながりが希薄〕

〔私たちの暮らしを取り巻く環境の変化〕

◎個人のライフスタイルの変化、価値観の多様化
◎社会経済の進展から効率重視の社会の加速
◎関わりの低下〔林業の停滞、山村の過疎化・高齢化〕

自然（森林）：「きれいな空気や水の供給」、「土砂災害防止などの公益的機能」、「木材の供給」、「癒し・やすらぎの場」、「生物多様性空間」

↓

「私たちは、自然（森林）によって生かされている。」　「森林県である岐阜県」

↓

豊かな森林や自然に影響を受けて育まれてきた、地域の伝統と文化に誇りを持ち、
地域に関わり、地域の将来を担う人材を育てていきたい。

「ふるさと教育」：清流の国ぎふづくり憲章・岐阜県教育ビジョン

2　ぎふ木育の考え方

○ **希薄になった森林と人との関係性　　⇒　幼児期から大人まで、関係性が続く**

だから「ぎふ木育」始めました！

定　義

森や木とふれあい、学び、ともに生きていく

ぎふ木育　＝　「森と木からの学び」

岐阜県の豊かな自然を背景とした「森と木からの学び」であり、ふれあい・親しむことから、気づき、理解し、考える、という段階的な活動を通じて、清流の国ぎふの森林を守って活かす“人づくり”に向けた取り組み。特に幼児期における自然体験を重視。

直接触れるなど五感を磨く重要な段階

幼児期の自然体験　＝　人間形成の基礎を育む。

※それぞれのライフステージで、それぞれの関わりを持ち続けること、それが真に豊かな人生につながると考えます。

3　ぎふ木育の取り組みの基本的な考え方　～３０年ビジョン～

1　長期的に育む　～生まれてから次の世代を育てるまで～

2　「つながり」で育む　～ぎふ木育でつながる人づくり～

3　段階的に育む　～段階的に、世代を継ぎ循環すること～

＊30年を目安として段階的、継続的に取り組む

ステップ 6　「伝える」

ステップ 5　「参加する、行動する」

ステップ 4　「考える、判断する」

ステップ 3　「調べる、理解する」

ステップ 2　「関心をもつ、気づく」

ステップ 1　「ふれあう、親しむ」

この循環の中に身を置き続けること、自身が「ぎふ木育」の実践者であると同時に享受者であり続けること

１～６までの取り組みの先に見えるものは？

忘れられつつある、薄れつつある「ふるさと」の再発見、再（創）生？
「ぎふ木育」＝ふるさと教育を進めるための手法

ぎふで生まれ、育った子供たちを、ぎふが大好きな子供たちにしたい。たとえ将来ぎふを離れることがあっても、懐かしさでいっぱいの場所、いつの日にか帰りたいと思えるようなふるさとを作ってあげたい。また成人しても、年老いても、いつも心のどこかに豊かな自然、森の息遣いを感じ、その森が生み出す清流が心の奥の、どこか陽だまりのような場所で静かに流れているような、精神的に豊かな人生を送られる場所であってほしい・・・。

4　ぎふ木育の取り組みと「森のようちえん」

ぎふ木育の取組

森からのアプローチ

- 学校における森林環境教育
- 保育園・幼稚園のぎふ木育教室
- ぎふ木育交流会（自然保育関係）
- 人材育成・研修会　　など

暮らし〔木づかい〕からのアプローチ

- 常設版ぎふ木育ひろばの設置
- 学校の木製品導入
- 人材育成・研修会
- ぎふの木のおもちゃの貸し出し
- ぎふの木のおもちゃ開発　　など

森の　ようちえん

重要なことはどこに注目するか？　岐阜県林政部では、森に注目しているから、「ぎふ木育」として、推進し、支援しています。

大切なことは価値観と手法としての多様性への許容力

森を想う人、森が必要な人には、すべて、おおらかに支援したい。

いろいろな取り組みがあっていい
み～んな「ぎふ木育」

自主保育型、既存園自然体験型、イベント（親子参加）型、ハイブリッド型、プレーパーク等々

5　岐阜県における「森のようちえん」の活動支援

キッカケは、ぎふ森林づくりサポートセンターのブログ（Ｈ２５～）

ぎふ木育大交流会～森の子育ち・親育ちフェス～を開催（Ｈ２７．９）

参加者申込者

1日目　438名（うち、子ども191名）

2日目　305人（うち、子ども138名）

参加者申込者の居住地別人数

岐阜内

岐阜市	56	美濃市	6	北方町	2
美濃加茂市	55	恵那市	4	七宗町	2
多治見市	53	大野町	4	御嵩町	2
土岐市	21	川辺町	3	笠松町	1
可児市	16	神戸町	3	下呂市	1
関市	16	白川村	3	白川町	1
各務原市	15	富加町	3		
郡上市	14	中津川市	3		
大垣市	12	羽島市	3		
高山市	12	飛騨市	3		
不明	10	瑞浪市	3		
八百津市	7	本巣市	3		
瑞穂市	6	揖斐川町	2		

愛知県

豊田市	62
名古屋市	8
犬山市	6
みよし市	6
扶桑町	5
豊橋市	4
一宮市	2
春日井市	2
瀬戸市	1

三重県

いなべ市	3
津市	1

長野県

飯田市	3
長野市	1

奈良県

葛城市	5
橿原市	2
河合町	1
桜井市	1
生駒市	1
下市町	1
奈良市	1

その他県外

静岡県浜松市	5
鳥取県鳥取市	5
滋賀県高島市	4
京都府京都市	4
宮崎県都城市	3
東京都足立区	1
千葉県市川市	1

6　Ｈ２７．９　ぎふ木育大交流会アンケート結果

Q:「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用して行っている「ぎふ木育」の取組みのうち重要だと思うものはどれですか?（複数回答あり）

- ①木育教材や木製品の購入費の補助 …7
- ②幼稚園・保育園・小中学校等での出前授業 …23
- ③木育指導者育成のための研修会 …27
- ④木育体験イベント …26
- ⑤常設の「木育ひろば」の設置 …27
- ⑥木育実践者の交流会 …23

Q: 上記以外で必要だと思うことは?（抜粋）

- 「自然の家」等の宿泊研修施設の精神を引き継いだ民間宿泊施設への援助
- 森のようちえん、森の小中学校、プレーパークが県立に
- 森のようちえんの認証制度。プレーパークの大普及（小学校区に1つはほしい）
- 森のようちえんやプレーパークへの補助
- 森のようちえんも幼児教育に選択肢の1つにすること
- 森のようちえんの認知を高めるための広報活動
- 森のようちえんや自由な小学校に通うための金銭的な補助がほしい。移住促進にもつながると思います
- 火や水が使えるように森を開放すること
- 森でのびのび遊べる場のスタッフの育成、フィールドの確保
- 森林公園の整備（崩れてしまった橋を直してほしい、使われていない小さな小屋を使わせてほしい）
- 年齢決めず、たごっこパークのような場。子どもが自分の足で行け、常設である場
- 子どもが育つうえで何が大切なのか、行政、市民、議員ともに継続的に学ぶ場が必要

岐阜県の取り組み

↓

「ぎふ木育」に
関連する支援を実施

森のようちえん関係者の動き

↓

「ぎふ森のようちえん
ネットワーク」設立

7　ぎふ木育交流会の開催（交流・安全な活動実施の支援）

森のようちえん・プレーパーク実践者を対象に、森林空間を活用し、活動するうえで必要な知識や技術の習得、実践者同士の交流を目的に開催。

●平成２８年度（３回開催）

〔内容〕　：野外自然体験における「危険予知、緊急時対応講習」
森のようちえん実践者と自治体職員との交流など

〔参加者〕：２７５名〔県内実践者、自治体職員、子供等〕

●平成２９年度（３回開催）

〔内容〕　：森のようちえん・自然保育の社会化に向けた勉強会・交流
森林空間におけるリスクマネジメント講習

〔参加者〕：１２５名〔県内実践者、自治体職員、子供等〕

●平成３０年度（３回開催予定）

〔内容〕　：森のようちえん全国交流フォーラムにむけて
多様な形態の「森のようちえん」の事例報告と意見交換

「保育園・幼稚園」、「自治体」、「森のようちえん」の交流を実施

→

森のようちえん全国交流フォーラム誘致〔県支援〕→　H31開催内定

→

多様な森のようちえんの取り組みを県内に広がる

8　「清流の国ぎふ 森林・環境税」を活用した「自然保育」の支援

（1）既存園支援型

ぎふ木育教室

対象：保育園、幼稚園、小学校、子育て支援センター、公民館など
目的：森や木とふれあい、親しむ中で、人と自然、人と人との
　　つながりを自ら考えることのできる豊かな心を育む。
内容：**<u>野遊びウォーク、木のおもちゃ作りなどの講師を県が派遣</u>**
実績：Ｈ２７：３４施設、Ｈ２８：３６施設、Ｈ２９：５０施設

野遊びウォーク

ぎふの木育教材導入支援事業

対象：保育・教育関連施設
目的：身近な木にふれあい、親しみ、温もりを感じることで木と
　　森とのつながりを考えることのできる豊かな心を育む。
内容：**<u>ぎふの木を使ったおもちゃなどの購入補助。</u>**
　　（経費の１／２、上限10万円）

木のおもちゃ

8　「清流の国ぎふ 森林・環境税」を活用した「自然保育」の支援

（2）イベント支援型

清流の国ぎふ地域活動支援事業

対象：NPO、任意団体、自治会など
内容：各種団体等が自ら企画・立案・実行する創意工夫ある環境保全に関する地域活動を支援。
50万円までは10/10補助。それ以上は1/2補助。
【下限：100千円／上限1,250千円】
実績：（H28）森のわらべ多治見園：
「休日版　森わら広場」による森のようちえん普及事業

清流の国ぎふ市町村提案事業（イベント型支援）

対象：県内市町村
内容：市町村が必要と考える環境保全活動を支援。
補助金額10/10以内（上限1,000千円以内／事業）
公共施設の県産材利用促進は1/2以内（上限3,000千円／事業）
実績：（H28）揖斐川町（全国育樹祭跡地を活用した体験型「森のようちえん」事業）
美濃市（ 保育園等での木育ワークショップ、プレーパーク）

8　「清流の国ぎふ 森林・環境税」を活用した「自然保育」の支援

（3）指導者育成・技術支援

ぎふ木育教室指導者養成研修

保育園、幼稚園などの先生を対象とした研修（年２回）

安全管理研修・里山づくり後継者養成講座

幼児が自然環境の中で、安全に安心して活動できるための研修や里山の利活用を考える講座

子供も大人も、みんな、もっと森へ行きましょう！
森はきっと今もあなたを待ってくれています。